



夏休み子ども応援事業  
「楽しく防災を学ぼう」(小2~小6)

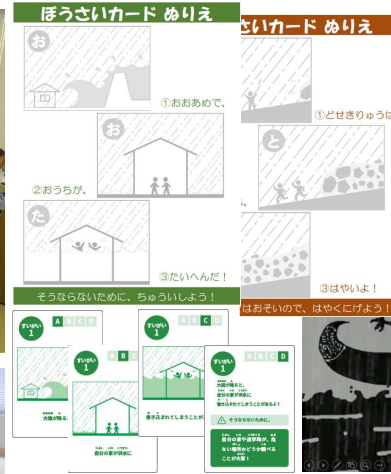
- 実施月日：令和元年8月19日(月)
- 実施内容：防災カードゲームと防災カードぬりえ、防災クイズ
- 実施場所：福島県福島市吉井田(吉井田学習センター)
- 参加人数：36名

「防災カード」や「ぬりえ」、「クイズ」を使って、  
子供たちに防災について学んでいただきました！

講座の実施風景

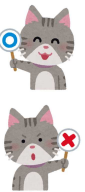


配布した資料の一部



クイズ 土石流による被害をふせぐためにつくられる施設はどれ？

- ①砂防堰堤
- ②ガードレール
- ③横断歩道



【進めるうえでの課題】

参加者のほとんどが小学校低学年生のため、「防災」や「身を守るための行動」などを如何に理解してもらうかが大きな課題。また、どのようにして興味・関心を持続させ内容に集中させる工夫も必要。

【1】

声に出す

防災カードゲームでは、加々形式で各々が取ったカードを皆で復唱して、学ぶべき内容を「声に出す」ことと、さらにその内容を「友達の声を通して聴く」ことで理解の手助けを行った。

【3】

複数のコンテンツ

興味・関心を持続させる工夫として、「カード」「動画」「昔話」「ぬりえ」に加えて、防災知識に係わる「クイズ」を行うことで子どもたちの講座への集中力を維持しつつ進化した。

【2】

視覚に訴える

災害や防災などについて学ぶにあたって、「視覚に訴える」ことは効果的であることから、「動画」や「昔話」、「ぬりえ」を使って理解を深めるように努めた。

【4】

大学生も参加

1グループ(子ども6名程度)に福島大学並びに福島学院大学の学生さん1名がサポーターとして入り、子ども達の学びや作業の手助けを丁寧に行っていた。